



聖日礼拝プログラム

今週のみことば

はじめに神が

天と地を創造された。

創世記

—
—
—



司会者	渡邊貞雄師	奏楽者	渡邊頬子師
讃美	新 18 おお御神をほめまつれ	—	同
主の祈り		—	同
讃美	新 21 輝く日を仰ぐとき	—	同
交説詩	篇 8 : 1 ~ 9	—	同
祈禱		司会	者
報告			
聖書	創世記 1:1~5、26~28	司会者	
説教	「天地の創造」	渡邊貞雄師	
献金	新 19 救いをなしたもう	北村真理姉	
頌祝	新 63 父、御子、御靈の	(起立)	同
祷		渡邊貞雄師	

受 = 幸子姉 / 操 = 真理姉 / A = 福田姉 / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頬子

2023年4月16日 VOL 47-16 No. 2424

URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 本日の礼拝より「創世記」が開かれます。個人の通読でも、創造と族長の歴史に触れてみましょう。
- ▼ ゴールデンウィーク期間の予定
 ◎ 4/29(土) 祝日で清掃なし
 ◎ 5/ 1(月) ~ 5(金) 集会なし
 ◎ 5/ 6(土) 清掃が再開です
- ▼ COGよき道(ニュース版) 4月号が届きました。新年度の任命表、群の動向や予定などが報告されています。この他に4月後半に、

「よき道」(季刊誌)印刷物が届く予定です。スリム化の一環としてご理解ください。

- ▼ 先週のイースター記念礼拝をこえて、現在はペンテコステ(聖靈降臨日) 5月28日(日)に向かう中、主の豊かな語りかけをいただこう。



にれ はみ

2023年4月9日
聖　日　礼　拜
ルカ24：1～12
「復活された主」
説教 渡邊貞雄師



復活の朝、婦人たちが誰よりも早く行動を起こした。しかしそれは不思議と驚きと恐怖に満ちた体験でもあった。

I、空の墓へ行く

彼女たちは主のために香料を用意し、声を掛けあって墓にやって来た。ところが厳重な見張りの兵隊ではなく、案じていた墓の蓋は開き、中の主の亡骸もなくなっていた。婦人たちは「途方にくれた」(4)とある。

不可解と失意のどん底に見舞われていた。そこに輝く2人の天使が近づき、恐れおののく婦人たちに、「ここにはおられません。」(6)と大きな声が響いた。きっと頭はパニックで真っ白になったことだろう。「途方に暮れる」は、パズルを懸命に解く姿であり、または素晴らしいこと(アメージング)が起きていると思い巡らす様を意味する。

私たちは咄嗟の時、悪い事のみ考えるが復活は最高に嬉しいことであった。

II、前に進むヒント

この混乱、錯乱した中で、み使いは「思い出しなさい」(6)と語った。謎を解く鍵(キー)は前方ではなく、主が語られた過去の記憶と主の約束を思い出すことにあった。私たちは語られた

みことばに、霊的認知症やみことば認知症になってはいけない。

婦人たちはかつての主の「人の子は必ず…十字架につけられ…よみがえる。」との約束を「思い出した」(8)。

マリアも「思いめぐらし」(ルカ2：19)、エマオの途上の弟子たちも「心は内で燃えていた」(ルカ24：32)と思い出した。主が心に語られるいのちのことばを、しっかりと受けとめさせていただこう(ヘブル2：1)。

III、しかしひテロは

婦人たちはすべてを報告したが(9、10)「たわごと」とされた(11)。

「たわごと」とは「無意味、空っぽな会話」を意味する。婦人たちはガリラヤにいた時から、自腹の精神で主に仕えてきた人たちだったが、「たわごと」と一蹴された(ルカ8：3)。

「しかしひテロは立ち上がり」(42)とある。これは「復活する」の意味もある。彼はもう一度主イエスに出会い、お詫をするチャンスが与えられることとなった。

今朝、復活の喜びに感動し、「主は生きておられる」との希望に溢れて、心からのお祝いをささげよう！



◎公共に監視カメラ スカーフ不着特定

イラン司法当局は4月8日、髪を覆うスカーフの着用義務に違反する女性の増加を抑えるため、公共の場や大通りに監視カメラを設置し、違反した女性を特定して罰すると発表した。

当局は、ヒジャブ（髪を隠すスカーフ）着用を求める法律への抵抗はイランの精神を汚し、不安を広げるとしている。企業経営者に対しては、「社会的規範の遵守の真剣な監視」を呼びかけた。

イランでは昨年9月、22歳の女性がヒジャブの着用が不適切として道德警察に拘束され、死亡して以来、ヒジャブを着用しない女性が増えている。

◎教皇が呼吸器感染症で

数日入院＝バチカン発表

ローマ教皇府（バチカン）は3月29日、教皇フランシスコ（86）が呼吸器の感染症でローマ市内のアゴスティーノ

・ジェメリ総合病院に入院した。バチカン・ニュースが発表した。

バチカンのマッテオ・ブルーニ広報局長によると、教皇は数日前から呼吸困難を訴えていた。同日午後にアゴスティーノ・ジェメリ総合病院で検査を受け、呼吸器の感染症が判明した。

◎「聖週間」始まる

バチカンで「受難の主日」ミサ

カトリック教会の典礼暦は4月2日、復活祭直前の1週間「聖週間」を迎えた。初日「受難の主日」、教皇フランシスコは、バチカンでミサをおこなわれた。バチカン・ニュースの報道を紹介する。

呼吸器感染症のために入院していたローマのジェメリ病院を前日4月1日に退院した教皇は、この朝「受難の主日」のミサをバチカンの聖ペトロ（サンピエトロ）広場で行われた。

ミサには、およそ6万人の信者が参加した（以下略）。

◎4/12（水）祈祷会 ルカ23：47 渡邊師「百人隊長のつぶやき（証言）」

百人隊長は「本当にこの方は、正しい人であった。」と語ります。この言葉は、主の十字架刑を執行する張本人の百人隊長から発せられたものでした。

十字架上の主のお姿と言葉と態度から、思わず百人隊長の口から漏れた言葉ではないでしょうか。もし周囲に聞こえたら、それ以後の百人隊長の人生は、どうなったのだろうと危惧するくらいです。しか

し彼の心（魂）は、それでもそう叫ばざるを得ない思いに迫られたと言えるでしょう。もしかするとご聖霊が、百人隊長の心に働きかけてそう告白することを許されたのかもわかりません。

私たちもどんな激動の中に置かされても、真実な証し人でありたいと祈り願います。



「本当に、この人は神の子だった」
(マルコ15：39)

【今後の集会予定／教会情報】

- ◎4/19(水) 定例祈祷会 (PM7:00)
(ZOOMにて開催中)
- ◎4/22(土) 清掃奉仕 (AM9:30)
- ◎4/23(日) 聖日礼拝 (AM11:00~)
- ◆ 祈祷会(司) 幸子姉(説) 順子師

● 来週礼拝 創世記 2:4 ~ 25

● 主題「人間のはじまり」

定期集会のご案内

- ◇ 楽しい組会(日) 午前10:00~10:45
- ◇ 聖日礼拝(日) 午前11:00~12:00
- ◇ 早天祈祷会(火土) 朝6:30~7:00
- ◇ 祈祷会(水) 午後7:00~8:15

来週の奉仕者

- ◎ 礼拝司会 中川兄
◎ 礼拝奏楽 順子師
◎ 礼拝献金 北村兄
◎ 受付 真理姉
▽ 教会学校 時時
▽ ヤング 隨隨
▽ アハングル なな
▽ ホーブ 隨隨
▽ 教会ナビ 時
▽ 昼食当番 し
▽ アッシャー 北村姉
▽ SSS 入力 中西兄
▽ PPT操作 中西兄

《《 2023年 松阪教会スローガン「乗り越える！」(+) (プラス)》》
「ヨセフは実を結ぶ若枝…その枝は垣を越える」(創49・22)

礼拝の心得

- ①聖書のヨハネ4:24に「神は靈ですから、神を礼拝する者は、靈とまことによって礼拝しなければなりません。」とあります。
- ②始まる時間と5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。
- ③賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心から喜んでおさげしましょう。
- ⑥その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。

